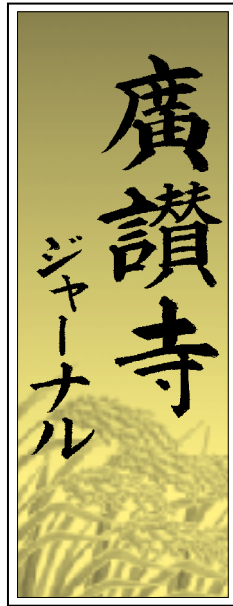




同朋会結成五十年・本堂建立五十年記念  
～吉崎御坊旅行



第51号

(発行所)

真宗大谷派

松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30

TEL(052)411-5301

FAX(052)411-5341

携帯 090-1568-4623

E-mail:kousan-temple  
@trad.ocn.ne.jp



## 吉崎御坊参拜によせて

「慳貧(けんどん)の口にあまりし嫁菜哉(よめなかな)」これは江戸時代の女流俳人加賀千代(かがちよ)の句である。嫁おどしの肉付き面の話に出てくる欲深い姑婆と少しにがい嫁菜を出して皮肉った句に思えるがどうでしょうか。

昼食後、私たち総勢七十三名はガイドさんに案内され吉崎御坊の中心にある願慶寺に入り和田厚住職の法話を聞いた。私は肉附の面を見ながら説明を受けるのは初めてであった。何度も行かれ聞法された方には失礼かと思いますが、おどされた時の嫁の言葉

「食めば食め、喰らわば喰らえ、金剛の他力の信は、よもやはむまじ」

の持つ迫力に驚いた。自力を捨て阿弥陀仏の救いのみを信ずる心まで喰らえないぞという意味でしょう。

私にはこんな心境にはなかなかなれません。

姑と嫁はお互いに自己中心になっていって、相手への無理解があったことに気付かされ、相手を受け入れ、共に熱心な求道者になっていったと思いました。

住職の話の内容は多岐にわたっていたが、私がすごいと思ったことは、蓮如上人はわずか四年ほどしか吉崎にみえなかったが、親鸞聖人の教えをわかりやすく、誰にも等しく接していた。特に女性が救われる道を伝えたことが全国から聞法者が多く集まった。そして防禦(ぼうぎょ)組織などを持った寺内町ができた。さらに、蓮如上人が近江にいたころ、頓智(とんち)で有名な一休さんと何度か会って意気投合していたこと。仏教を民衆に、という思いが合致し意気が合ったのでしょうか。

江戸時代に入り、願慶寺が幕府の末端の機能を担っていた。それで、蔵には多くの歴史的資料が残っているの、古文書として少しずつ公開されるとのこと。

明治になって『御坊制(ごぼうせい)』は廃止され、『別

院制』となった。そして廃仏毀釈(はいぶつきしゃく)などのお話を聞いた。

まだまだ初耳のことが多かったが蓮如上人の銅像のある御山で満開の桜を見ていたら、近くにいた方々からウグイスが鳴いていると歓声がわいた時、碑の最後のほうに「うぐいすの どちらが鳴くぞ 水の影」の句が目に入った。

お講で、正信偈・念仏・和讃そして、お文拝読のお勤めをし、報恩講を定着化させるなど精力的に勧められた蓮如上人の活動の偉大さにただただ感激する。

今回はバスの中では、伊藤和美さんが撮影したビデオ(平成二年の同朋会旅行、平成六年の関東二十四輩と井波別院瑞泉寺参拝)を見ながら移動したので飽きることもなかった。大垣から渋滞になり少し遅れて、全員無事に稲葉地農協に到着。皆さんお疲れさまでした。

### ふたつの五十周年記念バス旅行

私にとって機会の少ない団体旅行。廣讚寺同朋会のバス旅行。朝一番、〇〇さんから電話のベルが鳴る。靴を履きながら「今から出かけます」と。遅い遅い出発時間数分前にこんな調子。何十年もこんな調子。

時々、ここ行つたわよね、これ見たよね、と覚えてい。遠い遠い記憶になって。バスの中で、二十年ほど前の同朋会の旅行のビデオを見る。どなたも若くして、とてもステキ。でも、おなじみさんの顔は時がたつにつれていなくなる。

今日は吉崎御坊に出かけて、その場所に立つ。前回の記憶はかすみ、はるかかなた。ただ、この場所で念珠を買ったことは覚えてる。今日はその念珠を持ってきた。願慶寺の畳の上に並べられた商品を見て、一緒だね、昔と。あの時どのような気持ちで買ったのか、再び頭の中を巡らすこと意味深し・・・

吉崎御坊に立ち、本当に恥ずかしいけど新鮮で吸い取り紙のような私でした。御坊といういわれ。布教はもちろん、本山財政を支えたり。今の役所の役割も担っていた。蓮如上人から始まり、幾人もの人々によって伝わり続けてきた。弾圧あり、一揆あり、飢餓あり。その都度、伝説が生まれ物語も作られるようになった。長い時間を経てたくさんの人々の言葉が私に届くのでしょうか。私からどなたに届くのでしょうか。私は私で居つづけようと思っ  
 っていて、わからぬ心に、南無阿弥陀仏と称名し、榮しくおかしく願慶寺亭の落語を聞いて(失礼かも)、くすつと笑つて春爛漫らんまんの桜をほめて、思いも悩みも、謗りそしり(それも永遠に続くもの。それでもちよっぴり温かく健康やかに一日が送れましたことにありがとう。

晃雅

## 行事予定

六月 九日(土) 七時半 同朋会(役員は七時)

十九日(火) 二時 学習会

二十八日(木) 十時 二十八日講・女人講

七月 十四日(土) 七時半 同朋委員会・例会  
(役員は七時)

十九日(木) 二時 学習会

二十二日(日) 六時半 納涼大会  
(雨天決行)

### ◆◆納涼大会◆◆

人形劇  
金魚すくい・輪なげ・  
ビンゴ大会など…  
楽しい催しものがいっぱい。  
どなたでもご参加ください。

二十三日(月) 九時 後片付け

二十八日(土) 十時 二十八日講・女人講